

- 氏名：北林 孝顕 (キタバヤシ タカアキ)
- 会員番号：PEN-0004
- 専門分野：Civil
- 試験日と会場名：2007年10月28日(日)
東京・芝浦工業大学・豊洲キャンパス



- PE 試験挑戦回数：1 回目
- 使用した参考書、問題集：
 - ・Lindeburg の Civil Engineering Reference Manual for the PE Exam Tenth Edition
 - ・Lindeburg の Practice Problems for the Civil Engineering PE Exam Ninth Edition
 - ・American Institute of Steel Construction
- 勉強時間：勉強期間は 2 ヶ月弱。勉強時間は平日平均 3 時間、土日祝日は平均 10 時間。
- 試験場に持参した図書類：上記 6 と同じ

合格体験記：

①はじめに

元プラント、主に海外プラントの土木建築設計業務に約 10 年間携わっていたが、3 年前に本社部門へ転籍になったため、現在では海外業務とは疎遠になってしまった。が、いまだ海外での業務の素晴らしさが忘れられず、再び海外での業務への道を自力で切り開くために、PMP⇒一級建築士取得という STEP を経て、PE 資格の取得に踏み切った。

②受験申請

2007 年 4 月の FE 試験に合格。年齢も年齢なので、早速 10 月の PE 試験 in オレゴンを受験しようと OSBEELS のホームページを調べたところ、既に締め切ったことが判明。念のため、2007 年 10 月から可能となった東京受験の申込み期限も調べたところ、まだ申込可能とのこと。であれば！と、勢いだけで東京受験を決意。

合格後の州への登録要領がまとまっていないようではあったが、州登録は PE 試験に合格してからの話。とりあえず目の前の PE 試験に集中しよう！と自分に言い聞かせ、早速 PE エデュケーションから問題集と参考書を購入した。

③勉強方法

2007 年 8 月に日本の技術士二次試験を、しかも専門は「建設」ではなく、現職の「経営工学／サービスマネジメント」で、受験する予定であったため、勉強開始は結局 9 月となった。ただし、PE 試験まで 2 ヶ月切ったということで、最初からエンジン全開。平日は毎日会社から帰宅後 22 時から 1 時近くまで、土日祝日は平均 10 時間近く勉強した。

使用した図書は定番である「Lindeburg の Civil Engineering Reference Manual for the PE Exam Tenth Edition (参考書)」「Lindeburg の Practice Problems for the Civil Engineering

PE Exam Ninth Edition (問題集)「American Institute of Steel Construction」。ひたすら参考書の Example と問題集の Practice を解き、解説や参照ページ、わからない和訳を参考書に書き込んだ。また PE 先輩方の助言に従って、参考書に付箋を付けたり、単位換算表をクリアケースに入れて見易くする等の工夫も実践した。

専門は Structural を選択。理由はインドネシアのプロジェクトで AISC や ACI による構造計算の経験があったためと、その他の専門では全く合格する気がしなかったためだ。ただし、問題集と参考書の Structural 部のページの多さには正直マイッタ！！

④試験当日の朝

試験前日、神戸市内の電車が大幅に遅れ、新幹線に乗り遅れるというアクシデントがあったが、なんとか無事に東京までたどり着いた。試験会場は東京豊洲の芝浦工業大学。半年前に受験した FE 試験と同じ会場だ。今日でひとまず勉強から解放されるという喜びが強かったからか、朝から妙にテンションが高かった。(ような気がする)

試験開始直前、ある日本人試験官が「持込図書にポストイットを貼ってはダメ！」と叫んだ。マズイ、私は AISC にポストイットをベタベタ貼ってしまっていた。取らないと AISC を没収されるかも。仕方ない、善は急げだ。こんな時だけ作業が速い。一瞬にして全てのポストイットを剥ぎ取った。しかし、．．次の瞬間、更に私を凍りつかせる出来事が。すかさずある受験生が「ポストイットは OK ですよ！」と反論を。「そんなわけは無い！」と日本人試験官は慌てて米国試験官に確認に行く。運命の瞬間。「No Problem!」ええええっ！は、早まった～！そして、．．失意のどん底のまま、私は試験を迎えた。

⑤試験

午前は時間十分。問題文の英語は思ったより短く、割と簡単であった。問題の難易度は参考書の Example を一通りやっておけば OK という程度。しかし、午後は参考書や問題集には記載の無い、実務的な問題が多かった。とりあえず、できる問題を探して解き始めたが、開始 60 分で解答できたのは 5 問のみ。夏でもないのに汗でビショリになった。でも、とにかく一問一問クリアしていくしか、．．と思い、なんとか問題に食らいついた。が、結局訳のわからないまま試験終了。お、お、終わった。(なにもかも)

⑥最後に

冷静に分析しても 7 割方落ちたと思っていたので、合格という結果には正直ビックリした。私なりに感じた PE 試験合格のポイントは下記の 3 点である。

- 1) ゆとりある気持ち、ゆとりある行動が大切 (とにかく落ち着くこと)
- 2) PE 先輩方からの助言が非常に役に立った (ああ、入ってて良かった JSPE)
- 3) 最後に私を救ったのは実務経験だったかも (日ごろの業務の大切さを痛感)

これもすべていろいろと相談に乗ってくださった JSPE の先輩方のおかげである。この場を借りて御礼を申し上げます。そしてもう一人。黙々と勉強し続ける私を陰でそっと支えてくれた最愛の妻にこの場を借りて御礼を言いたい。本当にありがとう。